

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2023年12月20日

2. 認定事業適応事業者の名称

扶桑薬品工業株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は、昨今の医薬品業界において、主力製品の人口腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品および輸液などのより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力しております。

その中で、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢などの様々な要因から、医薬品の安定供給が強く要請されている状況に対して、社会から信頼される企業でありつづけるため、安定供給や品質確保に一層留意してまいります。

また、人工腎臓用透析剤の安定供給や環境配慮目的の燃料転換により、新たな付加価値の創出と脱炭素取組を通じた環境への負荷低減を両立させていきます。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させることまたはその生産し、もしくは販売する商品もしくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標。

2023年度より事業適応を開始し、2024年度(目標年度)までに茨城工場の炭素生産性を14.35%向上させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度(計画終了年度)に、経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業(日本標準産業分類における中分類名称およびその分類コード)

茨城工場：化学工業(16)

(選定理由) 計画の対象となる事業は主に医薬品製剤を製造するものであるため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度に、茨城工場にて、2024年1月に薬剤製造ラインを増設。生産能力を向上させることで、付加価値額の増加を図る。また、2022年から取組を行っているボイラーの燃料転換によるCO2排出量削減効果を、炭素生産性の向上の取組として計画に織り込んだ。

2年度目（目標年度）は、設備の通期稼働により、計画初年度から更なる付加価値額の向上を図ると共に、ボイラーの燃料転換も取組継続していくことで、計画初年度と同様の炭素生産性の向上効果を発揮できるものとした。

これらの取組を通じて、茨城工場の炭素生産性を14.35%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期および終了時期

開始時期：2024年1月

終了時期：2025年3月